

生物研究会, 東京, 2023 年 9 月 19 日.

- 6) 多部田康一: 歯周治療の基礎と関連背景についての最近の理解. 第 3 回 日本歯周病学会関東地区臨床研修会, 高崎, 2023 年 11 月 5 日.
- 7) 多部田康一: 歯周病における感染制御を目指したモダリティ開発. 東京歯科大学学術セミナー, 東京, 2023 年 12 月 8 日.
- 8) 多部田康一: 歯周治療の基本と関連背景のアップデート. 第 5 回信越・北陸地区臨床研修会, 福井, 2024 年 3 月 24 日.

## 歯科矯正学分野

### 【著 書】

- 1) 齋藤 功, 大森裕子: 4 章 検査と診断; 1. 矯正歯科治療のプロセス. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 1-4, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.
- 2) 齋藤 功, 大森裕子: 4 章 検査と診断; 2. 形態的検査・分析. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 4-14, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.
- 3) 丹原 惇: 7 章 矯正歯科治療の実際; 8. 口唇裂・口蓋裂. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 124-127, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.
- 4) 齋藤 功, 大森裕子: 7 章 矯正歯科治療の実際; 10. 顎変形症と外科的矯正治療. 全国歯科衛生士教育協議会監修; 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 2 版」, 130-133, 医歯薬出版 (株), 東京, 2023.

### 【論 文】

- 1) Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Nagasaki T, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure production and orofacial muscle activities during swallowing are related to palatal morphology in individuals with normal occlusion. Clin Invest Orthod ??(?): ???-???, 2024.
- 2) Arai M, Kaku M, Thant L, Kitami M, Ono Y, Dobashi A, Iwama H, Mizukoshi M, Kitami K, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Effect of Sparc knockout on the extracellular matrix of mouse periodontal ligament cells. BBRC 15:692:149364, 2024.
- 3) Iwama H, Kaku M, Thant Lay, Mizukoshi M, Arai M, Ono Y, Kitami K, Saito I, Uoshima K: Acellular extrinsic fiber cementum is invariably present in the superficial

layer of apical cementum in mouse molar. J Histochem Cytochem 72(2):109-120, 2024.

- 4) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Maung MM, Nihara J, Nohno K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment indicators in combination with Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. Int J Oral Maxillofac Surg. ??(?): ???-???, 2024.
- 5) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Ono Y, Kitami M, Mizukoshi M, Arai M, Iwama H, Kitami K, Kakiyama Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix. Sci Rep 14(1): 354, 2024.
- 6) Piriaprasath K, Hasegawa M, Kakiyama Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. Eur J Oral Sci. 131(4), 2023.
- 7) 齋藤 功: 「矯正歯科治療とは? マウスピース型矯正装置を用いた治療の留意点に触れながら」. 日歯医師会誌 76(5): 16-17 頁, 2023.
- 8) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置 (OA) の長期使用によって閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) 患者で生じる形態学的副作用とその予測についての側面頭部エックス線規格写真を用いた研究. 睡眠口腔医学 10(1): 1-9 頁, 2023.
- 9) 須佐美隆史, 佐藤嘉晃, 奥本隆行, 齋藤 功: 世界における口唇口蓋裂患者の治療に関する多施設共同研究の流れ ―咬合評価を中心に―. 日口蓋誌 48(1):1-11 頁, 2023.

### 【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 丹原 惇, 藤田 瑛: 生体力学的観点から顎変形症の治療基準を探る. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C) (一般), 22K10266, 2023.
- 2) 高橋 功次朗: 口腔機能発達不全の"定量化": エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立. 若手研究, 21K17180, 2021.
- 3) 上村藍太郎: 内因性カンナビノイド機構によるグリア機能の調節が関わる痛みの脳内制御機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K16110, 2023.
- 4) 北見公平, 加来 賢, 齋藤 功: 加齢マウス歯根膜組織の深層プロテオーム解析: 組織応答を担う細胞外環境の変化. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), 23K09412, 2023.

- 5) 水越 優：力学的刺激により歯根膜全域に誘導される増殖期細胞は幹細胞か. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16199, 2023.
- 6) (延長分) 北見公平：力学的刺激による歯根膜の階層的細胞応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17179, 2023.
- 7) (延長分) 栗原加奈子：舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020.
- 8) (延長分) 水越 優：矯正力に誘導される破歯細胞の供給ならびに分化成熟動態の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17155, 2021.
- 9) (延長分) 工藤武久：エナメル形成におけるライオンゼーションの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17249, 2022.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saito I: Changes in CLP management at Niigata University Hospital and introduction of intercenter studies in Japan. CLEFT SEOUL 2023 (15<sup>th</sup> World Congress of International Cleft Lip and Plate Foundation), Seoul, 16th-18th June, abstract book: p33, 2023.
- 2) 齋藤 功他：スペシャルセッション「審美歯科のQ&A『こんな時どうする？』」でのパネリスト. 日本歯科審美学会第34回学術大会スペシャルセッション企画, 鹿児島, 2023年12月10日.
- 3) 丹原 惇：矯正歯科医というプロフェッショナルの育成—新潟大学での取り組み—. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 99頁, 2023.
- 4) 高橋 功次朗：新潟大学医歯学総合病院における連携医療の現況. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 110頁, 2023.
- 5) 大川 加奈子：顎顔面形態と咀嚼および嚥下機能との連関. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 87頁, 2023.
- 6) 齋藤 功：矯正歯科の役割を再考しよう—過去から現在、そして未来に向けて—. 第66回中四国矯正歯科学会学術大会特別講演I, 徳島, 2023年7月1日～2日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 8-9頁, 2023.

- 7) 大森裕子：新潟大学における外科的矯正治療の臨床と研究. 第38回甲北信越矯正歯科学会大会, 塩尻市, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 22頁, 2023.
- 8) 丹原 惇：口唇裂・口蓋裂治療における咬合の安定性と顎発育の重要性. 第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会 シンポジウム5「長期管理症例から咬合の安定性を考察する」, 東京, 2023年5月26日. 日口蓋誌(2): 113頁, 2023.

#### 【学会発表】

- 1) Yamada T, Nihara J, Nishiyama H, Saito I: Morphological changes in the temporomandibular joint after orthognathic surgery in mandibular prognathism with deviation. TAO (Taiwan Association of Orthodontics) 36th Annual Meeting & 12th Residents' Meeting, Taichung, Taiwan, December 1-4, 2023.
- 2) Thant L, Kaku M, Hlaing PP, Dobashi A, Kakihara Y, Saito I, Uoshima K: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of differentiating osteoblasts. The 33rd Australian and New Zealand Bone and Mineral Society Annual Scientific Meeting, New Castle City, Australia, October 22-25, 2023.
- 3) Kobayashi J, Takemoto R, Takahashi K, Oomori Y, Saito I, Kawai M, Mitsumata T: Accurate Measurements for the Elasticity of Perioral Skin Tissues. 第33回日本MRS年次大会, 横浜, 2023年11月14日～16日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 67頁, 2023.
- 4) 鄭 琢揚, 齋藤大輔, 長谷部大地, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治：非対称を伴う顎変形症患者の顎矯正手術による顎顔面形態の三次元的評価. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023年11月10日～12日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 87頁, 2023.
- 5) Myo Maung Maung, 竹内涼子, 羽賀健太, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治：骨格性下顎前突症患者におけるウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動の定量的評価. 第68回日本口腔外科学会総会・学術大会, 大阪, 2023年11月10日～12日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 104頁, 2023.
- 6) 岩間 基, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: マウス臼歯根尖側の最表層には外部性線維性セメント質が存在する. 令和5年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2023年11月4日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 45頁, 2023.

- 7) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態との関連. 令和5年度第回新潟歯学会例会, 新潟, 2023年11月4日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 48 頁, 2023.
- 8) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 168 頁, 2023.
- 9) 新井 萌生, 加来 賢, Lay THANT, 岩間 基, 水越 優, 北見 公平, 魚島 勝美, 齋藤 功: SPARC 欠失歯根膜細胞における細胞外マトリックスの網羅的解析. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 38 頁, 155 頁, 2023.
- 10) 岩間 基, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: マウス臼歯セメント質における外部性線維の定量解析. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 182 頁, 2023.
- 11) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態の関連. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日-11月3日. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 同学術大会プログラム・抄録集: 232 頁, 2023.
- 12) 竹元 涼, 高橋功次朗, 小林潤矢, 大森裕子, 三俣 哲, 齋藤 功: 口唇周囲軟組織の硬さ測定方法の開発. 第82回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023年11月1日～3日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 176 頁, 2023.
- 13) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置(OA)を長期間用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における形態学的変化とその予測について. 第22回日本睡眠歯科学会総会学術集会, 京都, 2023年10月7日～8日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 92 頁, 2023.
- 14) 須田大亮, 長谷部大地, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤 功, 小林正治: 上下顎骨形成術と二次的オトガイ形成術を併用して重度 OSA の改善に至った顎変形症患者の1例. 第22回日本睡眠歯科学会総会学術集会, 京都, 2023年10月7日～8日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 91 頁, 2023.
- 15) Thant L, Kaku M, Dobashi A, Kakihara Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of human periodontal ligament. 日本プロテオーム学会 2023 年大会, 新潟, 2023 年 7 月 24 日～26 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 78 頁, 2023.
- 16) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若月華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性口唇口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価と治療効果に影響を与える因子. 令和5年度第1回新潟歯学会例会, 新潟, 2023年7月8日, 新潟歯学会雑誌 53(2): 39, 2023.
- 17) 大森裕子, 齋藤 功: 右側唇顎口蓋裂および第二大臼歯の缺状咬合を伴う Angle Class II 叢生症例. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 53 頁, 2023.
- 18) 大澤知朗, 高橋功次朗, 齋藤 功: 叢生を伴う Angle Class I 上顎前突症例. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 44 頁, 2023.
- 19) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若月華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 37 頁, 2023.
- 20) 山田貴大, 丹原 惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤 功: 下顎骨偏位を伴う下顎前突症者の外科的矯正治療後の顎関節形態の変化. 第38回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 塩尻, 2023年6月25日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 35 頁, 2023.
- 21) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスをを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023年6月8日～9日, 日顎変形誌 33(2): 190 頁, 2023.
- 22) Maung MM, Kasahara M, Takeuchi R, Skuma H, Hasebe D, Saito D, Saito I, Kobayashi T: Stability after Maxillary Setback by the horseshoe Le Fort I Osteotomy in Skeletal Class II Cases. 第33回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023年6月8日～9日, 日顎変形誌 33(2): 235 頁, 2023.

- 23) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者の顎顔面形態に対する術前顎矯正治療の影響—5歳時における側面セファログラム分析—。第47回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 東京, 2023年5月25日～26日, 日口蓋誌 48(2):168 頁, 2023.
- 24) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性唇顎口蓋裂児の治療効果に影響する因子の検討。第47回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2023年5月25日～26日, 日口蓋誌 48(2):169 頁, 2023.

#### 【受賞】

- 1) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井忠雄, 小野高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性。第82回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題賞, 2023年11月1日～11月3日.
- 2) 山田 貴大, 丹原 惇, 西山 秀昌, 小林 正治, 齋藤 功: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態と顔面形態の関連。第82回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題賞, 2023年11月1日～11月3日.
- 3) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い。第33回日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞, 2023年6月8～6月9日.

#### 【その他】

- 1) 齋藤 功, 友成 博: 矯正歯科専門医 (仮称)。令和5年度厚生労働省委託事業「歯科医療の専門性に関する協議・検証事業報告書」令和6年3月、日本歯科専門医機構.
- 2) 齋藤 功: 教授職として19年の歩みと日本矯正歯科学会の今。東京医科歯科大学 顎顔面矯正学分野同門会 講演会、2024年1月25日、東京.
- 3) 齋藤 功: 顎変形症に対する臨床と研究。2023年度鹿児島大学大学院特別講義 (9:00～10:30; リモート講義)、2023年7月24日実施.

- 4) 三村俊平: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者および個性正常咬合患者の咀嚼行動の比較検討。新潟歯学会雑誌 53(1):39 頁, 2023.

#### 摂食嚥下リハビリテーション学分野

##### 【著 書】

- 1) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係。最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 医歯薬出版株式会社.
- 2) 井上 誠: 口腔機能低下症と摂食嚥下障害。今日の治療指針はこう治療している 2024 (福井次矢, 高木 誠, 小室一成総編集), 1655-1656 頁, 2024.
- 3) 井上 誠: 5. 摂食嚥下リハビリテーション。脳神経疾患最新の治療 2024-2026 (北川一夫, 青木正志, 小林俊輔編), 332-335 頁, 株式会社南江堂, 東京, 2023.
- 4) 井上 誠: 第4章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎。災害食の事典 (一般社団法人 日本災害食学会監修), 株式会社朝倉書店, 86-87 頁, 東京, 2023.

##### 【論 文】

- 1) Akira Okubo, Takanori Tsujimura, Rumi Ueha, Taku Suzuki, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Anna Sasa, Eri Takei, Jin Magara, Makoto Inoue: Chewing well modulates pharyngeal bolus transit during swallowing in healthy participants. Dysphagia, in press.
- 2) Jin Magara, Reiko Ita, Yuhei Tsutsui, Haruka Sakai, Mengjie Zhang, Makoto Inoue: A case of dysphagia rehabilitation in the chronic stage of lateral medullary syndrome. Dysphagia, in press, 2024.
- 3) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Short-term and long-term effects of unilateral external carotid artery ligation on orofacial functions in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol, 1;326(3):G318-G329, doi: 10.1152/ajpgi.00226.2023,2024.3.
- 4) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of reflex responses of the anterior and posterior bellies of the digastric muscle in freely moving rats. J Oral Rehabil, Online ahead of print, doi: 10.1111/joor.13537. 2024.
- 5) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Kojun Tsuji, Jin Magara, Makoto Inoue: Continuous electrical stimulation of superior laryngeal nerve inhibits initiation